＜執筆について＞

１　論文の書式は，Ａ４判に，８～１０ポイントで，和文・横書き，**１ページは５３字×４５行**とします。ただし，本文の冒頭に，１０行分のスペースで，審査希望種目，表題のみを記入し，氏名は記入しないでください。**執筆の基準を守らない論文については，受け付けできません。**

２　論文は，６ページを上限とします。この中には，表題，表，図，写真，文献等の一切を含みます。

３　表題は，内容を具体的かつ簡潔・明瞭に表すものとし，長い表題の必要な場合は，副題を用いてくだい。

４　論文は，「である」調で，簡潔・明瞭に記述し，原則として，常用漢字，現代仮名づかい，算用数字を用いてください。

５　見出し記号は，１ (1) ① ア… の順にし，順次１字下げることとし，見出し記号の２，３，… の前は１行ずつ空けてください。また，見出し記号と見出しの間は１字分空けてください。

６　表，図，写真は，本文に叙述されているものに限ることとし，表１・図１等のように通し番号と表題を付け，刷り上がり位置の本文中に挿入してください。

７　引用文献（参考文献）は，論文の最後文に，著者名（編者名）の50音順に一括して掲げてください。ただし，その表記は，下の［例］に従ってください。

　［例］

　デューイ，Ｊ.,宮原誠一訳『学校と社会』岩波文庫，1957年

　新潟次郎「生活科における学習の成立」，上越一郎編『生活科の理論と実践』平成図書，1991年，51～60 pp

　山川三郎「生活科の授業における評価」『生活科研究』No.3，1991年，10～15 pp

８　注の形式で示す場合は，本文中に肩付き数字1),2),3),… で示して下さい。

９　執筆者の校正は初校だけとし，誤植の修正のみとします。校正の際の書き加え，書き改めは原則として認めません。

※　本ファイルは、５３字×４５行で作成してありますが、フォントや編集作業等により書式が変更されてしまう場合

　があります。提出前に５３字×４５行で作成されているかを必ずご確認ください。